

## 1 - 4 昭和 57 年（1982 年）浦河沖地震

### The Earthquake Off Urakawa of 1982

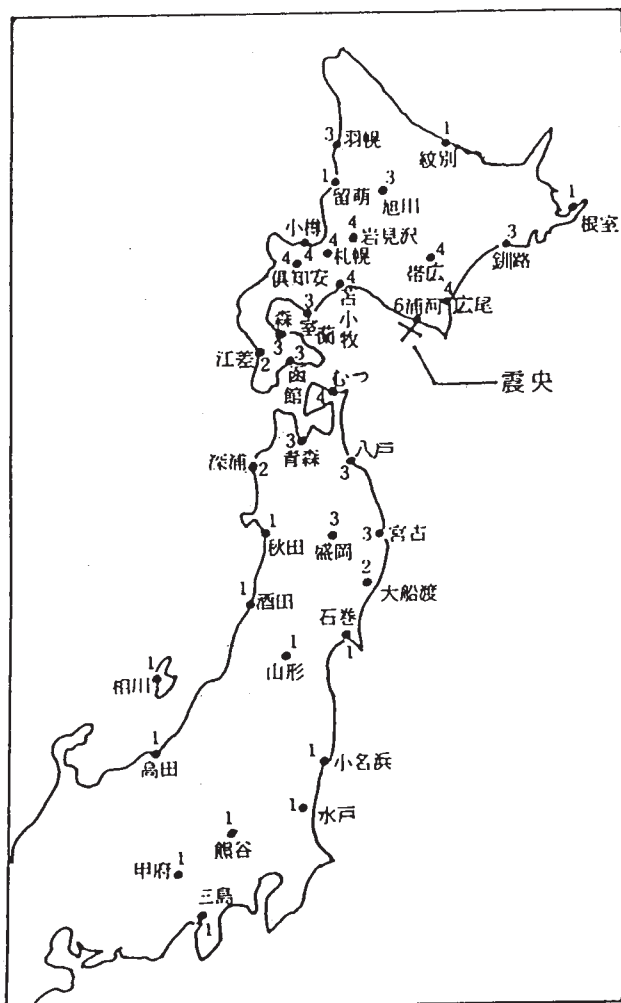
気象庁地震予知情報課  
Earthquake Prediction Information Division  
Japan Meteorological Agency

1982年3月21日11時32分頃、浦河沖（東経142度36分、北緯42度04分、深さ40Km、震源時11時32分05.7秒）にマグニチュード7.1の地震が起り、浦河で震度6を観測したのをはじめ、北海道・東北地方のほぼ全域と関東・中部地方の一部まで有感であった。第1図はこの地震の震央および気象官署における震度分布であり、第2図は札幌管区気象台の現地調査による日高管内の震度分布である。現地調査によれば、日高支庁三石町の西端、西浦里の両地区では家屋全壊など被害がひどく、浦河町同様震度6であったと推定される。

この地震により、日高支庁を中心に負傷者167人、家屋の全壊9、半壊16（昭和57年3月30日現在、北海道警察本部調べ）など大きな被害が発生した。また、この地震により北海道、東北、関東地方の太平洋岸で津波が観測されたが、津波による被害はなかった。第3図に各地の津波の高さの最高と第1波の到達時刻を示す。津波の高さは浦河港が最高で80cmであった。

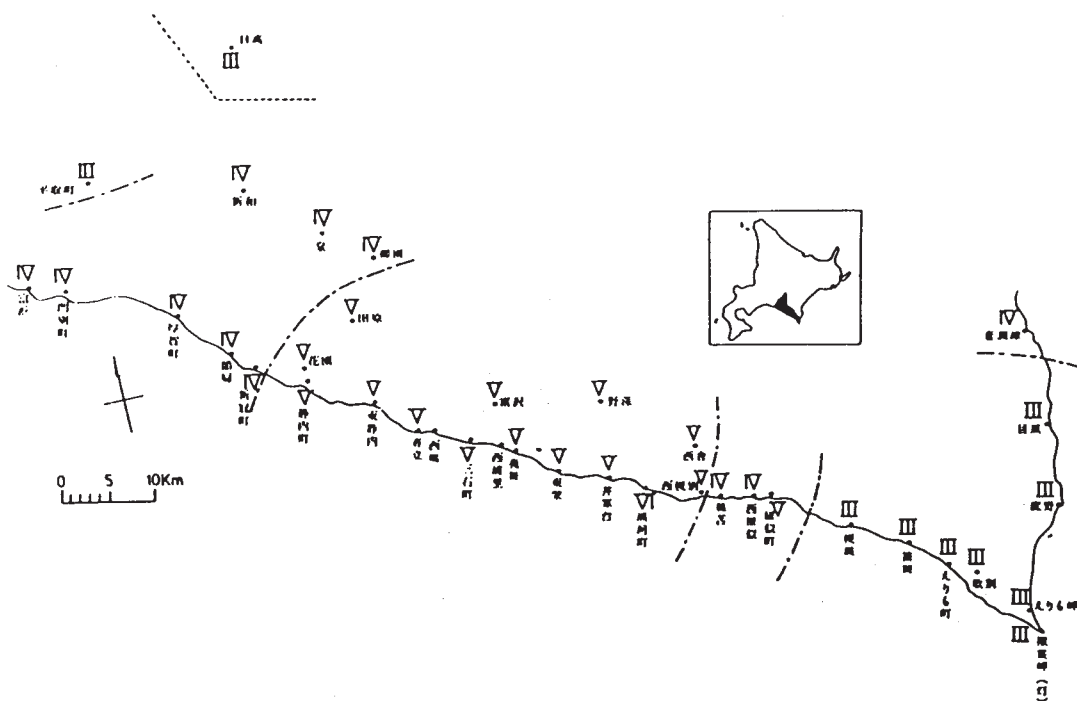
この地震では多くの余震が観測されたが、第4図は5月15日までの余震分布であり、第5図は浦河測候所における日別回数である。第6図は余震の減衰状況を調べたものであるが、今回の地震では余震の減衰がやや遅くなっている。

第7図に本震のメカニズム解を示してある。第8図は浦河沖およびその周辺において1925年から1981年までに発生したマグニチュード5以上の地震の時・空間分布である。北緯42度以北の活動をみると、1930年代沿岸付近で活発であったが、その後は比較的少なくなっている。



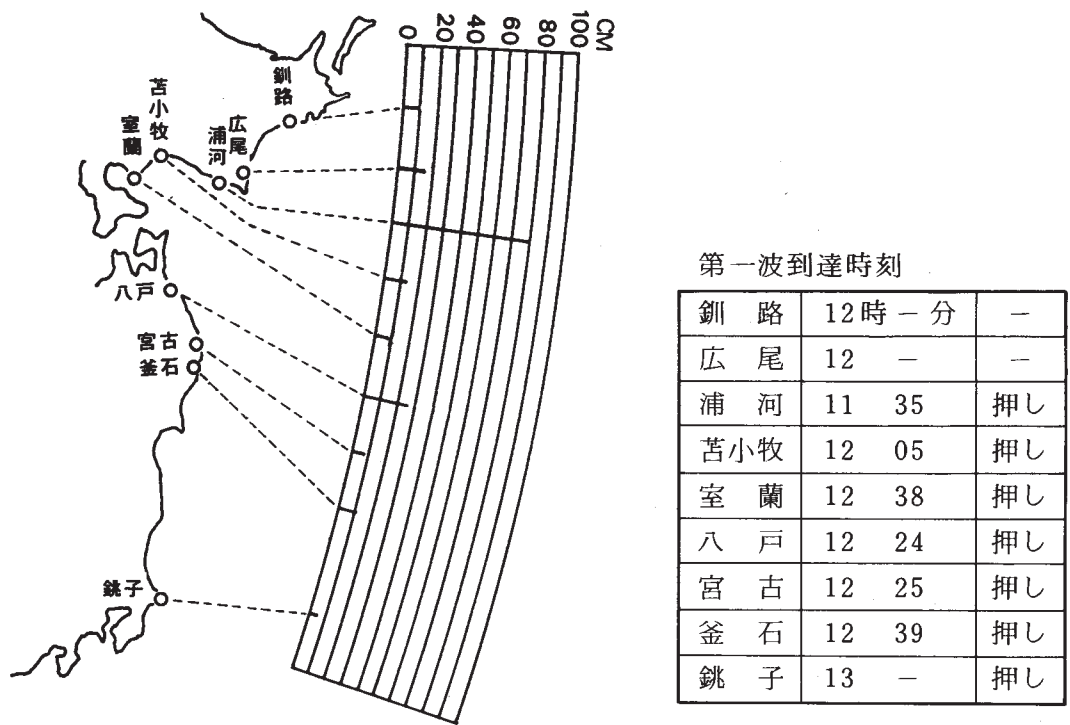
第1図 浦河沖地震の震度分布

Fig. 1 Distribution of seismic intensities for the Earthquake Off Urakawa of 1982.



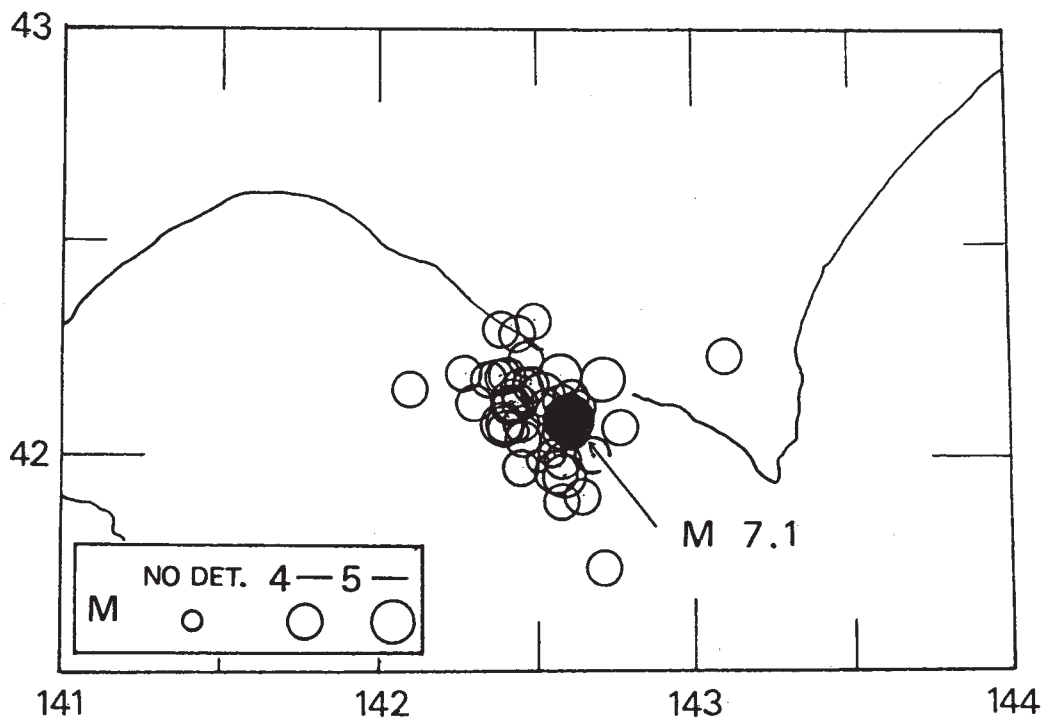
第2図 日高管内における震度分布（札幌管区気象台の調査による）

Fig. 2 Distribution of seismic intensities in Hitaka Sub-Prefecture, Hokkaido, for the Earthquake Off Urakawa of 1982.



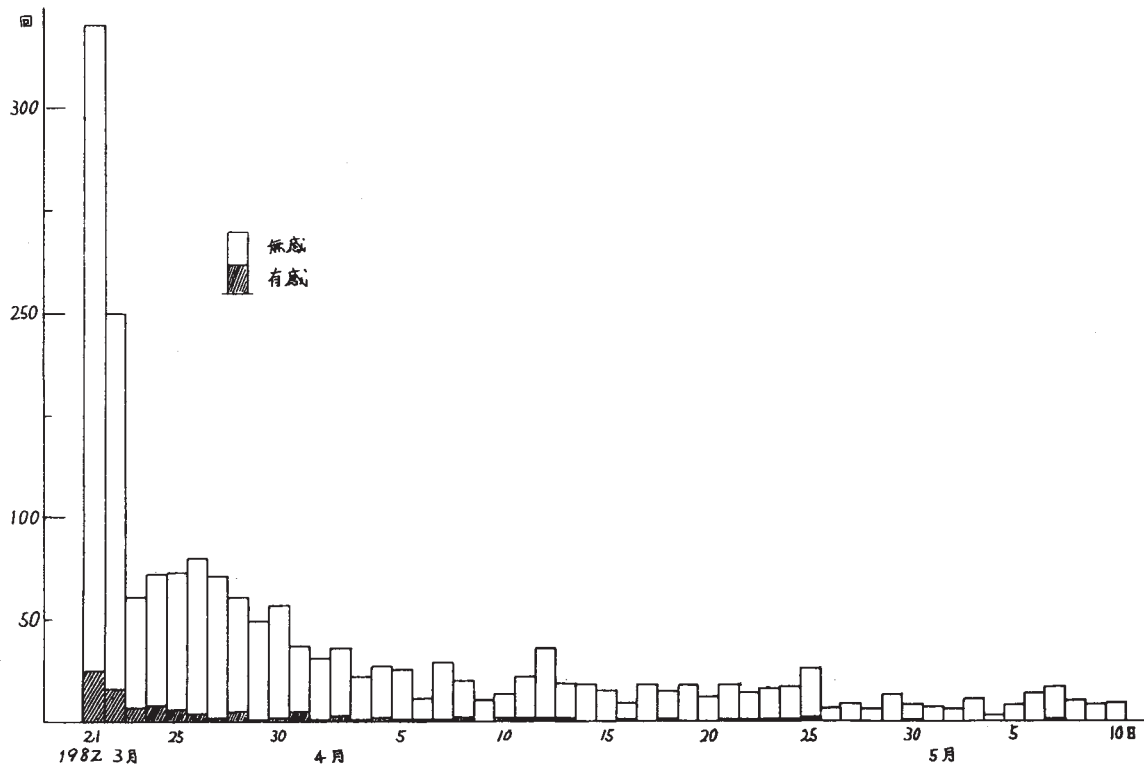
第3図 浦河沖地震による津波の高さの最高と第1波到達時刻

Fig. 3 Maximum heights and arrival times of the first waves of the tsunami for the Earthquake Off Urakawa.



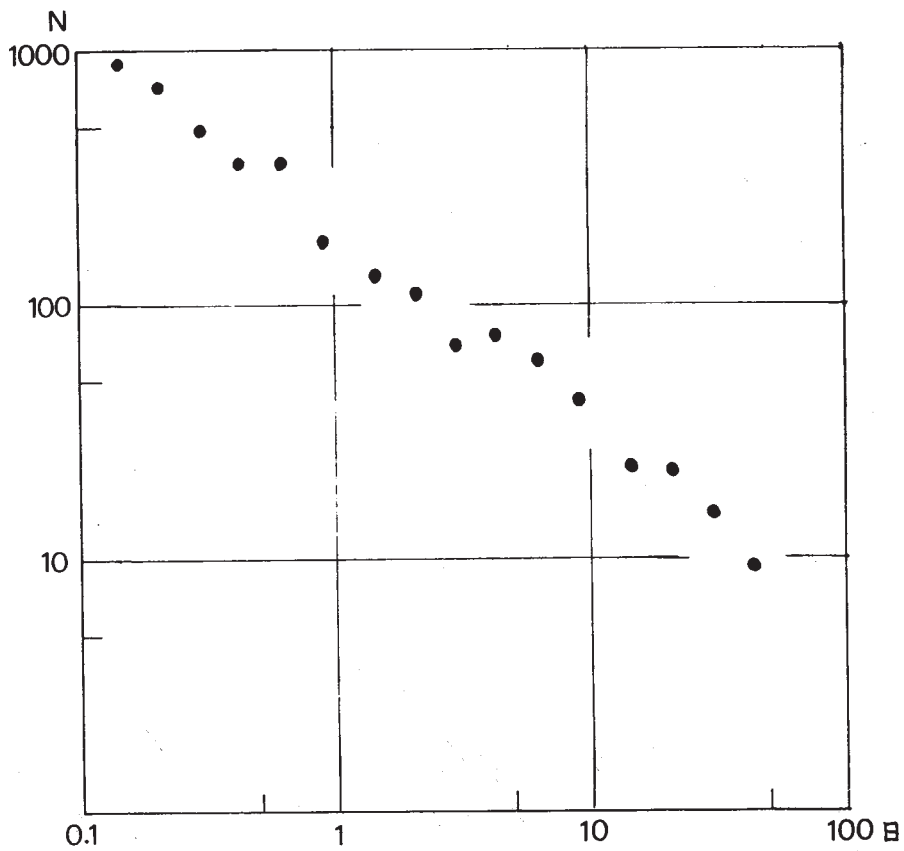
第4図 浦河沖地震の余震分布

Fig. 4 Distribution of the aftershocks of the Earthquake Off Urakawa at Urakawa weather station.



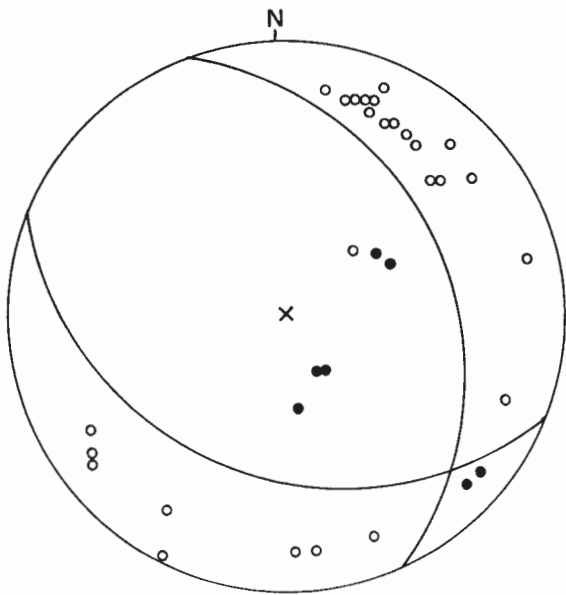
第5図 浦河測候所における日別余震回数

Fig. 5 Daily number of the aftershocks of the Earthquake Off Urakawa at Urakawa weather station.



第6図 浦河沖地震の余震の減衰

Fig. 6 Variation of daily number of the aftershocks of the Earthquake Off Urakawa.



DIP DIR. OF NODAL PLANE A 110.0 DIP 50.0  
 DIP DIR. OF NODAL PLANE B 335.2 DIP 50.0  
 P AZ. = 132.6 P IN. = 90.0  
 T AZ. = 42.6 T IN. = 24.6

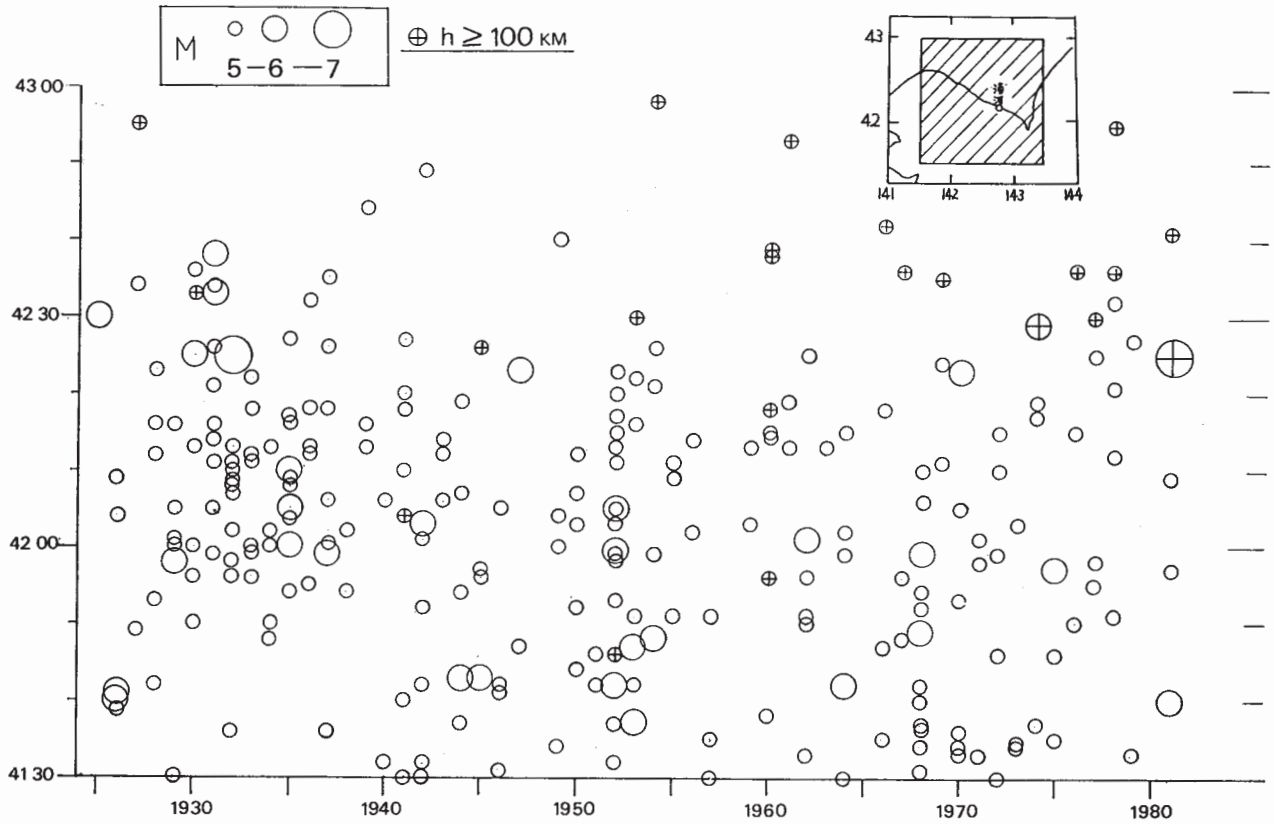
第7図 浦河沖地震のメカニズム解 (上半球投影)

● 押し  
 ○ 引き

Fig. 7 Source mechanism of the Earthquake Off Urakawa (Upper hemisphere).

● Up  
 ○ Down

Azimuth is measured in counterclockwise direction from the north.



第8図 浦河沖およびその周辺の地震活動の時・空間分布  
 (1925 ~ 1981,  $M \geq 5.0$ )

Fig. 8 Space-time distribution of earthquakes of magnitude 5.0 and larger in the region surrounding Urakawa, 1925 - 1981.